



大草太鼓の進化

大草夏祭りで大草太鼓を披露していた際、近くに座っていた中学生数人が、「ああ、叩きたいなあ…。」と話していました。

以前まちづくり協議会からいただいた資料のアクションプランに、「大草太鼓青年の部創設」(大草太鼓を伝承することによって世代間の交流が進み、協働愛が深まる)とあります。昨年度から模索していたところ、まずは中学生と小学生と一緒に叩く機会が訪れようとしています。

今年度の諫早市小中学校音楽会は、文化会館の改装工事に伴い、各中学校区での開催となっています。本校は琴海中学校の文化祭に伊木力小学校と一緒に参加します。そこで、大草小出身の中学生から参加を募り、小中合同の大草太鼓も披露する予定なのです。

夏休み中と、9月18日に行われた合同練習や中学生単独練習をのぞいてみました。体育館に向かう途中でもわかる音の迫力、久しぶりと言いながら全く衰えないバチさばき…。それどころか、野崎先生の指導をしっかりと理解して体現し、見事としか言いようがない太鼓でした。「手の皮がむけた」という生徒もいるくらい、バチを叩く力もついているのでしょう。

10月11日琴海中学校で行われるオレンジ祭が益々楽しみになりました。

なお、安心メールでも太鼓運搬のボランティアを募集していましたが、まだまだ募集しておりますので、ぜひご連絡ください。



子どもたちを主人公にする授業づくり目指して

9月12日、北海道教育大学から宮原准教授、諫早市教育委員会から鶴殿参事補をお招きして、学校の様子・授業の様子を見ていただきました。昨年度まで本校で教頭を務めていた鶴殿先生はもちろん、これで通算4回目になる宮原先生からも、子どもたちの成長を褒めていただきました。

子どもたちがすべて自分たちで授業をすすめる「セルフ授業」、複式授業でどちらの学年にもつかず様子を見守る「両学年間接指導」、新しい教科書の「デジタル解説動画利用」など、これまでとは違った取組にも少しずつ挑戦しているところです。子どもたちを主人公にするために、我々教師も主人公になるような出番づくりを今後とも模索していきます。

授業参観から授業参加へ

本校の悩みの一つに、「色々な考え方・意見を聞いて自分の考えを深める」ということができにくいことがあります。ああでもない、こうでもないという議論を仕組みにくいのです。

そこで、絶対数の少ない学年での国語科学習への参加を呼び掛けたところ、保護者の方を中心に、毎時間「話し合いのある授業」が展開できました。(鶴殿先生も1時間参加してくださいました!)1単元限定で呼び掛けたのですが、参加した保護者の方自身も「楽しかった」「学びになった」「また機会があったら参加したい」という声があがりました。児童自身も「色々な人の意見を聞いたり、一緒に考えたりして楽しかった。またやりたい」と話してくれました。

先ほどのまち協アクションプランには、「小学校を地域に開放」という計画もあります。これからどんどん「授業参加」を呼びかけますので、遠慮なくご参加くださいますようお願いいたします。子どもたちに、多くの人と話し合うよさを味わわせたいと思います。参加する方自身の学びにもつながれば幸いです。

とりあえず、今後のクラブ活動のお知らせをしておきます。全て木曜日です。

9月26日	イラスト	14:15~15:00
10月10日	スライムづくり	14:15~15:00
10月24日	ブレイクダンス	13:30~15:00
11月7日	かんけり	14:15~15:00
1月16日	ソフトバレーボール	14:15~15:00

とくに、ブレイクダンスは県主催事業のファミリープログラムの一環となっております。(昨年度はフィットネスを体育館でしましたよね。)小学生向けの体験講座ですので、お気軽に参加してほしいと思います。もちろん、参観だけでも大歓迎です。私の教え子でもある講師の方の華麗なダンスを見るだけでも一見の価値ありかと。(といつつ、私も見たことないので楽しみにしています)

他の内容も一緒に楽しめる活動ばかりだと思います。ソフトバレーボールは大人の本気を見せてやってもいいかもしれません!(^^)!

十字池復活

大きな鯉は死んでしまいましたが、稚魚たちは(ハヤではないかと言う声も…でも赤いのも一匹だけいるし、ハヤといわれるカワムツの特徴とは少し違うし…)元気に泳いでいます。雨水を利用して水をため、池がきれいになりました。休み時間ごとに魚たちの様子を見に来る子もいます。今後は定期的に掃除をして、きれいにしていきたいです。もちろん子どもたちによびかけますが!